

# この春、オープンです

三郷温の「三郷やすらぎ空間」と豊科高家の「とよしな旬彩市」がこの春、オープン。ぜひ、ご来店ください。

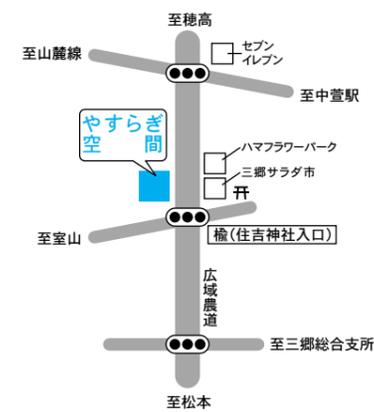
## 5月26日 OPEN 「三郷やすらぎ空間」



5月12日に行われたしゅん工式

### 農村の食と文化を 伝えていくために

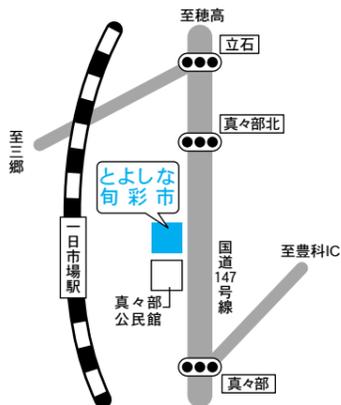
「三郷やすらぎ空間」が5月26日、三郷温にオープンします。この施設は、農業・農村文化を後世に伝える活動拠点とするために、旧三郷村で検討が始まったもので、「平成17年度農林水産省元気な地域づくり交付金事業」の交付決定を受け、昨年9月に着工、5月12日にしゅん工となりました。建物は、旧三郷村有形文化財に指定されていた「旧小穴家住宅」を移築再生した部分と新築部分で構成されており、そば打ちや味噌作りなどが体験できるようになるほか、ひなまつりや七夕など、日本の伝統的な雰囲気味わえる空間になる予定です。また、新築部分のレストラン「こむぎ亭」では、地域の特色を生かしたメニューを提供します。しゅん工式で平林市長は、「安曇野の自然・伝統・文化を多くの人が体験できる施設として、また地域農業の拠点としての役割も果たしてほしいと思います」とあいさつしました。総事業費は1億4千万円、指定管理者は株式会社ファインビュー室山です。大型農道沿い三郷サラダ市西側にあり、レストランの営業時間は、午前11時30分から午後3時、午後5時30分から午後9時まで。定休日は毎週月曜日。電話番号は（TEL 76・0188）です。



## 4月8日 OPEN 「とよしな旬彩市」



地元農作物のほか、友好都市の特産品なども販売



### 地元産の 野菜や米などを直売

農産物直売所「とよしな旬彩市」が4月8日、豊科高家にオープンしました。この施設は、農業の振興を図り、地域づくりの拠点とするため、平成8年から旧豊科町で検討が始まったもので、10年の歳月を経て、このたび完成しました。地元産の新鮮な野菜や有機栽培米のほか、肉や加工品も販売します。

開所式では同組合長の丸山寅夫さんが「安心・安全はもとより、顔の見える農作物を提供し、地域に元気の輪を広げていきたい」とあいさつしました。総事業費は約4,700万円、指定管理者は地元農家40戸余でつくる「豊科南部地区新鮮市組合」です。国道147号線沿いの真々部公民館北隣にあり、営業時間は午前9時から午後6時まで。定休日は毎週火曜日（変更の可能性有。詳しくはお問い合わせください）。電話番号は（TEL 73・0902）です。

## 明科浄化センター(公共下水道終末処理場)が完成

明科浄化センターの第2期工事がこのほど、終了しました。今回の工事は、供用開始区域の拡大に伴い、予想される流入量の増加に対応するため平成15年度から平成17年度にかけて実施しました。新たに定置型脱水施設が備わり、より効率的な処理が可能となりました。明科地域の公共下水道は、平成18年度で未整備区域の管きょ工事を実施して事業を終了する予定です。浄化センター第2期工事の総事業費は、約10億2,700万円です。



明科東川手に完成した浄化センター